

# 発がん性の高い蛍光塗料をご存知ですか？

その他の予防医学と豆知識

一昔前に、カマボコの白さを際立たせるために蛍光塗料の食品添加物が使われておりました。それはとても白さが美しく、見た目にも美味しそうに見えたのですが、発がん性が高いということで、食品添加物としては使用禁止になったのです。ところが、皆さんの身近なところにこの蛍光塗料が使われているのですが、ご存知でしょうか？それが化学合成洗剤なのです。大量生産によりコストダウンさせ、白さをより際立たせるために衣類の繊維内にこの蛍光塗料を染み込ませているのですが、これで仕上げると、真っ白に見えいかにも清潔感が漂うわけです。

この蛍光塗料が染み込んだ衣類は、いかにも真っ白で清潔に見えますが、実は本当の白色になっているわけではなく、蛍光塗料の光の反射がその様に見せかけているものなのです。ブラックライトを当てると、それは素晴らしく輝いて見えてまいります。つまり、繊維の中にこの蛍光塗料が染み込んでいるためなのですが、発がん性が高いといわれるものが皆さんの肌を取り巻いていることになるのです。肌からの吸収がどうなのかはあまり議論にはなっていないようですが、皆さんはどのようにお感じになられますか？そして大人は服をしゃぶったりはしませんが、赤ちゃんはどうでしょうか。しゃぶってしまいますね。発がん性が高いため、食品添加物で禁止された蛍光塗料が赤ちゃんの口に入っていく、考えるだけでもぞっとしてまいります。このような生活廃水が川に流れていくわけですから、環境が破壊されるのは当たり前ですね。

一昔前、石鹼はネズミがかじるモノだったそうです。今の石鹼はネズミもかじらない化学石鹼になっていませんか。化学薬品が皮膚から吸収されることを理解しておくことは、自分たちの身を守る上でもとても大切なことになってきています。個人の意識によって、自然石鹼に切り替えることが望まれています。